

単元名	(旧)幸せを運ぶカード(工作)	配当時間	6時間
単元の目標	(1) 相手にメッセージを伝えるために、仕組みや配色などを工夫しながら表現することができる。 (2) 仕組みを有効に生かすために、配色や画面構成などの面白い構想を練ることができる。 友達 の作品のよさを取り入れたり、お互いの作品のよさを感じ取ったりすることができる。 (3) 飛び出す仕組みを使って、手作りのカードをつくろうとする。		

標準的な展開例

04080209_001

【準備等】画用紙、色画用紙、色紙、サインペン、クレヨン、パス、水彩用具一式、色鉛筆、はさみ、カッターナイフ、カッターマット、のり、木工用接着剤、材料（布、糸、綿、モールなど）

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 参考作品を見ながら、カードの面白さや仕組みの不思議さを感じて、これからつくる作品の構想を練る。 ○参考作品を見て、その面白さに気付く。 ・配色 ・コラージュ ・開いたときの飛び出す仕組み ★飛び出す仕組みを使って、素敵なカードをつくろう ○どんなカードをつくるかを考え、作品の構想を練る。 ・バースデーカード ・クリスマスカード ・招待状 2 飛び出す仕組みを理解し、カードの図柄を考える。 ○カードの工夫を知る。 ・切り込みを入れること ・他の紙を折って入れること ・違う素材を使うこと ○カードの仕組みや図柄を考える。 ○つくる計画を立てる。 ・準備するもの ・カードの利用方法 3～5 計画に従って、表現方法を工夫しながら、つくる。 ○楽しい仕組みを取り入れて、作品をつくる。 ・仕組み ・彩 色 ・飾 り ○全体の調子を整えながら、作品を完成する。 6 友達の作品を鑑賞し、よいところを伝え合う。 ○友達と作品を交換しながら、カードを楽しむ。（言語活動）	・教科書3・4下 P.40, 41 ・教科書の作品や教師の参考作品を使ってどんなメッセージを伝えようとしたのかを説明しながら、カードの面白さを理解させる。 ・面白いところはどこかを発表させ、意欲化を図る。 ・色や字の工夫にまで、視点を広げさせる。 ・誰にどんなカードを送りたいかを考えさせる ・カードを受け取る側の気持ちについて想像させ、どんな作品にすればよいかを改めて考えさせる。 ・教科書P.40, 41の「つくり方」を参考にし、動いたり、飛び出したりするカードの仕組みを理解させる。 ・簡単な仕組みをつくる過程を全員の前で見ることができればより効果的である。 ・示したもの以外にも、いろいろな工夫ができることを知らせる。 ・目的に合った仕組みを選ばせるようにする。 ・簡単なメモでよいが、必要な材料まで考えさせる。 ・画用紙などで仕組みをつくり、試してみるとよい。 ・各自の計画を確認しておく。 【評】用途に合わせて、配色や画面構成、飛び出す仕組みを考える活動を通して、「発想や構想の能力」を評価する。 ・仕組みだけは事前に組み立てて、動くかどうか確認させる。 【評】飛び出す仕組みを理解し、計画に従って作る活動を通して、「創造的な技能」を評価する。 ・交流のある他学年の学級などに届けるようにしてもよい。

【 備 考 】